

掲示板のことば

失ったもの

指折り数えた

その後で

今ある希望と

これから

手にする光を

数えてみるんだ

高橋優『現実という名の怪物と戦う者たち』

2025. 03

コロナ禍を経て、たくさんのを失ってしまったという感覚がありました。それは、わずか4～5年の間のことだったのかもしれませんが、その時にしかできなかったこと、その時にしか出会えなかった人、その時にしか身を置けなかった場所、その時にしかつかむことができなかつた機会、その時にしか触れることができなかつた温もり、その時にしか交わすことができなかつた言葉……。

そして自然災害に遭い、競争社会に押しつぶされ、互いのいのちを傷付けあうこの世界で、失ったものを指折り数えてしまいます。

でも、それらの現実を経験した上に、私たちは今生きています。少しずつ回復し、復興してゆく中で、また人と出会い、つながりを大切に生きてゆきます。

高橋さんはこう歌います。

出会えて良かったと心から言える 人が少しずつ増えてく

その温もりを噛み締めながら

支え合ったり卑屈をぶつけ合ったり 独りじゃ辿り着けない場所に

僕らは今きっと赴いている途中

そこに希望があり、これから手にするであろう光があるということでしょうか。未来のいのちに想いを馳せて、未来を生きる人間の姿を思い描くことで、今を生きる私たちの生活態度が決まってくるのではないのでしょうか。

未来は、今にあります。希望は、今にあります。

その希望がやがて光となり、私たちの道標となるのではないのでしょうか。

真宗大谷派 光明寺住職 小林尚樹